



豊かな自然と強い絆で明るく住みよい 宮川校区

校長 松永幸二

個人的なことで恐縮ですが、先日、教育界永年勤続表彰式があり、3月末で定年退職を迎える私も出席させていただきました。教員生活38年間でいろんな行事がありましたが、同伴者が許可される行事は初めてでした。私は、妻と2人で出席しました。出席者の中には、母親を同伴する人や息子さんを同伴する人もいらっしゃいました。永年の勤続は、本人だけの力ではなく、家族や友人、同僚など周囲の人の支えがあってこそできたのだからという、県教育委員会の計らいです。私自身も、仕事を優先しながら家庭での役割も果たしてきたつもりですが、それができたのも妻や子どもたち、そして、いろんな場面で支えてくださった多くの方々のお陰だと強く感じています。今回の表彰式は、改めてそのことを認識し、感謝する機会となりました。

教員生活最後となる宮川小学校での2年間は、私にとって思い出深い勤務地となります。明るく元気なあいさつをしてくれる子どもたち、学校の教育活動に各面から御協力くださる保護者の方々、そして、いつも温かく子どもたちを見守り育ててくださる地域の方々など、多くの方々に支えられながらの2年間でした。十分なことはできなかったと思いますが、校長としての思いをあらゆる教育活動に置き換えて、子どもたちのために頑張ってきたつもりです。お世話になりました多くの方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、児童虐待の報道が頻繁に流れています。本来、子どもたちにとって一番安全で安心な場であるべき家庭の中で引き起こされる家庭内での虐待は、周囲の目から見えづらく発見が遅れることも多くあります。また、学校を含めた子どもたちを取り巻く関係機関の連携不足により、虐待の深刻化を招いた事案もあります。命をも失った子どもたちや今も虐待に苦しんでいる子どもたちのことを思うと、私たち大人がもっと子どもたち一人一人に目を向け、情報を共有し、早め早めの対処を心がける必要があります。全ての子が、明るい未来に夢と希望をもって成長できる環境を、私たち大人が保障してあげなければなりません。

宮川校区コミュニティ協議会は、まちづくりの目標として、次のスローガンを掲げています。

### 『豊かな自然と強い絆で明るく住みよい 宮川校区』

子どもたちがふるさとを愛し、ふるさとに誇りをもちながら成長できる宮川校区にするために、校区民の皆様方の目を子どもたちに向けた取組が、今後ますます充実するよう力を合わせていきたいものです。

おつきさま

おつきさまは

あんなにちいさいのに

せかいじゅうにみえる

「一年一組せんせいあのね」鹿島和夫編より

子どもたちの姿は、非常に小さいですが、地域のどこからでも子どもたちの存在が見える・感じられる地域をみんなでつくっていきましょう。